

# Endpoint発生率

	JET内科群	JET2 Primary E	JET2 Secondary E
A	<u>Primary E</u> 8.3 % (17/ 206 pt-yr)	7.6 % (2 / 26.2 pt-yr)	0 % (0 / 26.2 pt-yr)
B		4.1 % (2 / 48.4 pt-yr)	4.1 % (2 / 48.4 pt-yr)
C	<u>Secondary E</u> 5.3 % (11/ 206 pt-yr)	7.4 % (3 / 40.6 pt-yr)	2.5% (1 / 40.6 pt-yr)
D		1.1 % (1 / 87.5 pt-yr)	0 % (0 / 87.5 pt-yr)

\*P: primary endpoint / S: secondary endpoint



## Exclusion criteria (該当項目がある時にチェックして下さい)

- 神経症候が重篤 (Modified Rankin Disability Scale 3以上)  
 非動脈硬化性病変によるもの  
 悪性腫瘍、心不全、肝不全、腎不全、呼吸不全  
 6ヶ月以内の心筋梗塞、および冠動脈不全  
 空腹時血糖値が300mg/dl以上、あるいはインスリン治療を要する耐糖能低下  
 拡張期血圧 110mmHg以上の高血圧症

発症から登録までの期間  3ヶ月以内  3ヶ月-6ヶ月

研究事務局 e-mail : bypass@mgt.ncvc.go.jp

Key film 送信先 : bypass@mgt.ncvc.go.jp

問い合わせ先 : 〒565-8565 吹田市藤白台5-7-1 国立循環器病センター脳神経外科  
JET -2study 事務局

(TEL: 06-6833-5012, FAX: 06-6836-2876)

※受付は休日を除く月曜～金曜 10:00～17:00

- \* CTまたはMRI、脳血管撮影、脳血流検査 (安静時およびdiamox負荷後) の key filmを各1枚 (Powerpointで作成) メールにて上記アドレスまで送信してください。
- \* 登録番号をe-mailまたはFAXでご連絡いたしますので連絡先を下記に記入してください。

連絡先e-mailまたはFAX

FAX番号

事務局記載

登録日 : 200 年 月 日

症例登録番号 : \_\_\_\_\_

## - 登録用紙 -

1. 医療機関名：  
 2. 代表者名： 3. 担当医名：  
 4. 被検者イニシャル：(姓) (名) 5. 性別：男 女  
 6. カルテ番号：  
 7. 生年月日： 19 年 月 日  
 8. CBF分類：A群 B群 C群 D群  
 9. 登録日： 200 年 月 日 10. 登録番号：  
 11. 同意取得： 200 年 月 日  
被検者本人 代諾者 (続柄 )  
 12. 既往疾患：高血圧症 糖尿病 高脂血症 虚血性心疾患  
心臓弁膜症 心房細動 脳卒中  
その他 ( )  
 13. 初回発作：時期200 年 月 日  
 神経症状 (右・ 左)片麻痺 失語症  
その他 ( )  
 発作型 TIA completed stroke  
 14. 初回発作と最終発作の間の発作：  
 発作型 TIA (回数： 回)  
completed stroke (回数： 回)  
 15. 最終発作：時期 200 年 月 日  
 神経症状 (右・ 左)片麻痺 失語症  
その他 ( )  
 発作型 TIA completed stroke  
 16. 血管撮影所見：責任血管 (右・ 左)ICA (閉塞・ 狭窄)  
 (右・ 左)MCA (閉塞・ 狭窄)  
合併病変 ( )  
 17. CBF： 定量法 (IMP-SPECT・ Xe-SPECT・ cold Xe-CT・ PET )  
 安静時CBF 正常値の \_\_\_\_\_ % 脳循環予備能 (+ -) \_\_\_\_\_ %  
A群 B群 C群 D群  
 CBF測定時血圧-登録時(収縮期/拡張期) ( / )

## 18. 大脳高次機能 :

教育年数; 年、利き手;  右  左  両手、検査に使用した手;  右  左

1) WAIS-R: 符号

2) Verbal fluency test : animal words/min

あ words/min

ふ words/min

に words/min

「あ」、「ふ」、「に」の合計 words

3) WMS-R: 粗点

Information and Orientation ..... / 14  
 Mental control (精神統制) ..... / 6  
 Figural memory (図形の記憶) ..... / 10  
 Logical memory I (論理的記憶 I) ..... / 50  
 Visual paired I (視覚性対連合 I) ..... / 18  
 Verbal paired I (言語性対連合 I) ..... / 24  
 Visual reproduction I (視覚性再生 I) ..... / 41  
 Digit span (数唱) ..... / 24  
     Forward (順唱) ..... / 12  
     Backward (逆唱) ..... / 12  
 Visual taping span (視覚性記憶範囲) ..... / 26  
     Forward (同順序) ..... / 14  
     Backward (逆順序) ..... / 12  
 Logical memory II (論理的記憶 II) ..... / 50  
 Visual paired II (視覚性対連合 II) ..... / 6  
 Verbal paired II (言語性対連合 II) ..... / 8  
 Visual reproduction II (視覚性再生 II) ..... / 41

重み付けされた粗点の合計

Verbal Memory (言語性記憶)

Visual Memory (視覚性記憶)

General Memory (一般性記憶) .....

Attention/Concentration (注意/集中力)

Delayed Recall (遅延再生)

4) Trail Making Test : A sec

B sec

研究事務局 Key film送付先 e-mail: bypass@mgt.ncvc.go.jp

〒565-8565 吹田市藤白台5-7-1 国立循環器病センター脳神経外科

JET -2 study 事務局 (TEL: 06-6833-5012, FAX: 06-6836-2876)

※受付は休日を除く月曜～金曜 10:00～17:00

## -登録 6 ヶ月後の報告-

1. 医療機関名 : \_\_\_\_\_
2. 代表者名 : \_\_\_\_\_ 3. 担当医名 : \_\_\_\_\_
4. 被検者イニシャル : (姓) \_\_\_\_\_ (名) \_\_\_\_\_ 5. 性別 :  男  女
6. カルテ番号 : \_\_\_\_\_
7. 生年月日 : 19 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日
8. CBF分類 :  A群  B群  C群  D群
9. 登録日 : 200 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日 10. 登録番号 : \_\_\_\_\_
11. 登録後 6 ヶ月以内の再発作、死亡、新たな手術の施行  
 あり (別紙報告のこと)  
 なし
12. 神経学的所見 : \_\_\_\_\_  
 登録時に比べ  改善  不変  悪化
13. ADL : Modified Rankin Disability Scale (3以上は別紙報告のこと)  
 登録時に比べ  改善  不変  悪化
14. CT/MRI 所見 : 新たな梗塞巣  なし  あり (部位 \_\_\_\_\_ )  
 脳萎縮の進行  なし  あり (部位 \_\_\_\_\_ )
15. CBF : 定量法 (  IMP-SPECT ·  Xe-SPECT ·  cold Xe-CT ·  PET )  
 安静時 CBF 正常値の \_\_\_\_\_ % 脳循環予備能 (  +  - ) \_\_\_\_\_ %  
 CBF測定時血圧-6ヶ月 (収縮期/拡張期) ( \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ )

研究事務局 Key film送付先 e-mail: [bypass@mgt.ncvc.go.jp](mailto:bypass@mgt.ncvc.go.jp)  
 〒565-8565 吹田市藤白台5-7-1 国立循環器病センター脳神経外科  
 JET-2 study 事務局  
 (TEL: 06-6833-5012, FAX: 06-6836-2876)  
 ※受付は休日を除く月曜～金曜 10:00～17:00

## -登録1年後の報告-

1. 医療機関名 : \_\_\_\_\_
2. 代表者名 : \_\_\_\_\_ 3. 担当医名 : \_\_\_\_\_
4. 被検者イニシャル : (姓) \_\_\_\_\_ (名) \_\_\_\_\_ 5. 性別 : 男 女
6. カルテ番号 : \_\_\_\_\_
7. 生年月日 : 19 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日
8. CBF分類 : A群 B群 C群 D群
9. 登録日 : 200 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日 10. 登録番号 : \_\_\_\_\_
11. 登録後1年以内の再発作、死亡、新たな手術の施行  
あり (別紙報告のこと)  
なし
12. 神経学的所見 : \_\_\_\_\_  
 登録時に比べ 改善 不変 悪化
13. ADL : Modified Rankin Disability Scale \_\_\_\_ (3以上は別紙報告のこと)  
 登録時に比べ 改善 不変 悪化
14. CT/MRI所見 : 新たな梗塞巣 なし あり (部位 \_\_\_\_\_ )  
 脳萎縮の進行 なし あり (部位 \_\_\_\_\_ )
15. CBF : 定量法 (IMP-SPECT・ Xe-SPECT・ cold Xe-CT・ PET )  
 安静時CBF 正常値の \_\_\_\_\_ % 脳循環予備能 (+ -) \_\_\_\_\_ %  
 CBF測定時血圧-1年 (収縮期/拡張期) ( \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ )
- 研究事務局 Key film送付先 e-mail : bypass@mgt.ncvc.go.jp  
 〒565-8565 吹田市藤白台5-7-1 国立循環器病センター脳神経外科  
 JET -2 study 事務局  
 (TEL: 06-6833-5012, FAX: 06-6836-2876)  
 ※受付は休日を除く月曜～金曜 10:00～17:00)

## -登録2年後の報告-

1. 医療機関名：  
 2. 代表者名： 3. 担当医名：  
 4. 被検者イニシャル：(姓) (名) 5. 性別：男 女  
 6. カルテ番号：  
 7. 生年月日：19 年 月 日  
 8. CBF分類：A群 B群 C群 D群  
 9. 登録日：200 年 月 日 10. 登録番号：
11. 登録後2年以内の再発作、死亡、新たな手術の施行  
あり (別紙報告のこと)  
なし
12. 神経学的所見： \_\_\_\_\_  
 登録時に比べ 改善 不変 悪化
13. ADL： Modified Rankin Disability Scale \_\_\_\_ (3以上は別紙報告のこと)  
 登録時に比べ 改善 不変 悪化
14. CT/MRI所見： 新たな梗塞巣 なし あり(部位 \_\_\_\_\_)  
 脳萎縮の進行 なし あり(部位 \_\_\_\_\_)
15. CBF： 定量法 (IMP-SPECT・ Xe-SPECT・ cold Xe-CT・ PET )  
 安静時CBF 正常値の \_\_\_\_\_% 脳循環予備能 (+ -) \_\_\_\_\_%  
 CBF測定時血圧-2年(収縮期/拡張期) ( \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ )
16. 血管撮影(MRA)所見： 責任血管 ( 右・ 左) ICA ( 閉塞・ 狭窄 )  
 ( 右・ 左) MCA ( 閉塞・ 狭窄 )  
合併病変
- 経時的変化(登録時と比較して)
- なし ( \_\_\_\_\_ )  
あり



## 17. 大脳高次機能 :

教育年数 ; 年、利き手 ;  右  左  両手 、検査に使用した手 ;  右  左

1) WAIS-R : 符号

2) Verbal fluency test : animal words/min  
 あ words/min  
 ふ words/min  
 に words/min  
 「あ」、「ふ」、「に」の合計 words

3) WMS-R : 粗点

Information and Orientation / 14  
 Mental control (精神統制) / 6  
 Figural memory (図形の記憶) / 10  
 Logical memory I (論理的記憶 I) / 50  
 Visual paired I (視覚性対連合 I) / 18  
 Verbal paired I (言語性対連合 I) / 24  
 Visual reproduction I (視覚性再生 I) / 41  
 Digit span (数唱) / 24  
 Forward (順唱) / 12  
 Backward (逆唱) / 12  
 Visual taping span (視覚性記憶範囲) / 26  
 Forward (同順序) / 14  
 Backward (逆順序) / 12  
 Logical memory II (論理的記憶 II) / 50  
 Visual paired II (視覚性対連合 II) / 6  
 Verbal paired II (言語性対連合 II) / 8  
 Visual reproduction II (視覚性再生 II) / 41

重み付けされた粗点の合計

Verbal Memory (言語性記憶)  
 Visual Memory (視覚性記憶)  
 General Memory (一般性記憶)  
 Attention/Concentration (注意/集中力)  
 Delayed Recall (遅延再生)

4) Trail Making Test : A sec

B sec

研究事務局 Key film送付先 e-mail : [bypass@mgt.ncvc.go.jp](mailto:bypass@mgt.ncvc.go.jp)

〒565-8565 吹田市藤白台5-7-1 国立循環器病センター脳神経外科

JET -2 study 事務局 (TEL: 06-6833-5012, FAX: 06-6836-2876)

※受付は休日を除く月曜～金曜 10:00～17:00

## -脳虚血発作の報告-

1. 医療機関名：  
 2. 代表者名： 3. 担当医名：  
 4. 被検者イニシャル：(姓) (名) 5. 性別：男 女  
 6. カルテ番号：  
 7. 生年月日：19 年 月 日  
 8. CBF分類：A群 B群 C群 D群  
 9. 登録日：200 年 月 日 10. 登録番号：
11. 再発作、死亡の原因疾患、責任血管  
登録時と同じ  
登録時と異なる ( )
12. 再発作 時期 200 年 月 日  
 1) 発症様式 TIA  
completed stroke  
 2) 神経症状 (右・左) 片麻痺 失語症 意識障害  
その他 ( )  
 3) CT/MRI所見： \_\_\_\_\_  
 4) 血管撮影(MRA)所見： \_\_\_\_\_
13. 再発作後のADL：Modified Rankin Disability Scale \_\_\_\_\_  
 登録時に比べ 改善 不変 悪化
14. 死亡の場合 死亡年月日 200 年 月 日  
 研究事務局 Key film送付先 e-mail: bypass@mgt.ncvc.go.jp  
 〒565-8565 吹田市藤白台5-7-1 国立循環器病センター脳神経外科  
 JET-2 study 事務局  
 (TEL: 06-6833-5012, FAX: 06-6836-2876)  
 ※受付は休日を除く月曜～金曜 10:00～17:00

**-脳虚血発作以外による死亡、disabilityの報告-**

1. 医療機関名 :
2. 代表者名 :   3. 担当医名 :
4. 被検者イニシャル: (姓)                         (名)                         5. 性別: 男 女
6. カルテ番号:
7. 生年月日 :    19     年    月    日
8. C B F分類:  A群  B群  C群  D群
9. 登録日        : 200     年    月    日            10. 登録番号:
  
11. 脳虚血再発作以外による死亡またはdisability(Modified Rankin Disability Scale 3以上)の発生年月日:  
                                  200    年    月    日
  
12. 原因疾患 : \_\_\_\_\_
  
13. 悪化後のADL :  
                      Modified Rankin Disability Scale \_\_\_\_\_
  
14. 死亡年月日 : 20     年    月    日

研究事務局 Key film送付先 e-mail: [bypass@mgt.ncvc.go.jp](mailto:bypass@mgt.ncvc.go.jp)  
〒565-8565 吹田市藤白台5-7-1 国立循環器病センター脳神経外科  
JET -2 study 事務局  
(TEL: 06-6833-5012, FAX: 06-6836-2876)  
※受付は休日を除く月曜～金曜 10:00～17:00

**-登録後の新たな手術の施行の報告-**

1. 医療機関名：  
 2. 代表者名： 3. 担当医名：  
 4. 被検者イニシャル： (姓) (名) 5. 性別： 男 女  
 6. カルテ番号：  
 7. 生年月日： 19 年 月 日  
 8. CBF分類：A群 B群 C群 D群  
 9. 登録日： 200 年 月 日 10. 登録番号：

11. 登録後の新たな手術の施行理由：  
 1) 内科医の判断で外科治療へ移行  
 2) バイパスの再手術  
 3) 頭蓋内における他の部位の手術

具体的理由

その他； \_\_\_\_\_

12. 新たな手術の年月日：200 年 月 日

13. 新たな手術の術式： \_\_\_\_\_

14. 術後のADL： Modified Rankin Disability Scale \_\_\_\_\_

研究事務局 Key film送付先 e-mail：bypass@mgt.ncvc.go.jp  
 〒565-8565 吹田市藤白台5-7-1 国立循環器病センター脳神経外科  
 JET -2 study 事務局  
 (TEL: 06-6833-5012, FAX: 06-6836-2876)  
 ※受付は休日を除く月曜～金曜 10:00～17:00

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
森悦朗	アルツハイマー病と血管性痴呆の鑑別		よく分かるアルツハイマー病	永井書店	東京	2004	91-105
中川原譲二	脳血流SPECTによるバイパス術の適応判定精度改善技術の検討	永田 泉	新世紀のバイパス術 第22回 The Mt. Fuji Workshop on CVD 講演集	にゅーろん社	東京	2004	1-8
中川原譲二	脳代謝, 脳血流と脳虚血	太田富雄, 松谷雅生	脳神経外科学改訂9版	金芳堂	京都	2004	353-394
岡田芳和	慢性期脳虚血治療CEA	山浦晶	脳神経外科学体系 第9巻 閉塞性血管障害	中山書店	東京	2004	268-283
岡田芳和	前頭側頭開頭のシルビウス裂到達法の基本と工夫	水野順一	顕微鏡下手術のため脳神経外科解剖XVI	サイメッド・パブリケーション	東京	2004	89-97
岡田芳和	Saphenous vein graft を用いた High flow bypass 術の工夫	永田 泉	新世紀のバイパス術 The 22 <sup>nd</sup> Meeting of the Mt. Fuji Workshop on CVD	ニューロン社	東京	2004	76-80
片野広之 山田和雄	脳虚血の病態と遺伝子発現	河瀬 斌	脳神経外科学体系 神経科学	中山書店	東京	2006	163-175
Okada Y.	A case of right carotid arterectomy and axilloaxillary bypass for symptomatic carotid stenosis with innominate artery occlusion.	Kobayashi S.	Neurosurgery of Complex Vascular Lesions and Tumors	Thiem, New-York Stuttgart	New-York	2004	115-119
岡田芳和	成人先天性心疾患に必要な基礎知識—神経学的合併症—	丹羽公一郎	新目でみる循環器病シリーズ 先天性心疾患	メジカルビュー社	東京	2005	57-63
小笠原邦昭、小川 彰	内頸動脈閉塞例に対して頭蓋内—外バイパス術は有効な方法か	岡本幸市、棚橋紀夫、水澤英洋	Evidence-based Neurology EBM神経疾患の治療	中外医学社	東京	2007	82-84

飯塚統, 森悦朗	脳卒中で見られる 高次脳機能障害	山口武典, 岡田靖	よくわかる脳卒 中のすべて	永井書店	東京	2006	227- 252
西京子、 宇野昌明、 永廣信治	慢性期血行再建術 —頸動脈内膜剥離 術、浅側頭動脈・ 中大脳動脈吻合術— 。I 脳梗塞：	篠原幸人	インターベンシ ョン時代の脳卒 中（改訂第2版 ）下。—超急性 期から再発予防 まで—	日本臨床 社	東京	2006	100- 103
中川原譲二	脳卒中の診断に必 要な画像診断（脳 、血管）	山口武典 岡田靖	よくわかる脳卒 中のすべて	永井書店	大阪	2006	pp53- 66
中川原譲二	SPECT・PET	日本リハビリテ ーション病院・ 施設協会	脳卒中急性期治 療とリハビリテ ーション	南江堂	東京	2006	pp81- 84
中川原譲二	慢性期血行再建	宝金清博	脳血行再建術— 理論と実際	中外医学 社	東京	2006	pp136 -152
岡田芳和	CEA, CAS	山浦 晶	脳神経外科学大 系ン15インフォ ームドコンセン ト	中山書店	東京	2006	34-35

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
安部光代, 鈴木匡子, 岡田和枝, 三浦利奈, 藤井俊勝, 森悦朗, 山鳥重	前頭葉機能検査における中高 年健常日本人データの検討 Trail Making Test, 語列挙, ウイスコンシンカード分類検 査(慶応版)	脳と神経	56	679-684	2004
Uehara T, Tabuchi M, Mori E	Risk factors for occlusive lesions of intracranial arteries in stroke-free Japanese	Eur J Neurol	12	218-222	2005

Ito H, Kanno I, Kato C, Sasaki T, Ishii K, Ouchi Y, Iida A, Okazawa H, <u>Hayashida K</u> , Tsuyuguchi N, Ishii K, Kuwabara Y, Senda M	Database of normal human cerebral blood flow, cerebral blood volume, cerebral oxygen extraction fraction and cerebral metabolic rate of oxygen measured by positron emission tomography with 150-labelled carbon dioxide or water, carbon monoxide and oxygen: a multicentre study in Japan.	Eur J Nucl Med Mol Imaging	31	635-643	2004
Taguchi A, Matsuyama T, Moriwaki H, Hayashi T, <u>Hayashida K</u> , Nagatsuka K, Todo K, Mori K, David M. Stern, Soma T, Naritomi H	Circulating CD34-Positive Cells Provide an Index of Cerebrovascular Function	Circulation.	109	2972-2975	2004
Moriwaki H, Uno H, Nagakane Y, <u>Hayashida K</u> , Miyashita K, Naritomi H	Losartan, an angiotensin II(AT1) receptor antagonist, preserves cerebral blood flow in hypertensive patients with a history of stroke	Journal of Human Hypertension	18	693-699	2004
Kawaguchi S.	内頸動脈閉塞症における側副血行路としての眼動脈血流 - 血行力学的脳虚血との関係 -.	Neurosonology	17(1)	14-17	2004
Kawaguchi S.	Effect of carotid endarterectomy on the ophthalmic artery.	Acta Neurochir (Wien)	144	427-432	2002
Kawaguchi S.	Effect of carotid endarterectomy on chronic ocular ischemic syndrome due to internal carotid artery stenosis.	Neurosurgery	48(2)	328-333	2001

Kawaguchi S.	Effects of bypass on CO <sub>2</sub> cerebrovascular reactivity in ischaemic cerebrovascular diseases-based on the intra-operative LCBF and CO <sub>2</sub> cerebrovascular reactivity studies.	Acta Neurochir (Wien)	141	369-375	1999
Kawaguchi S.	Effects of bypass on ocular ischaemic syndrome caused by reversed flow in the ophthalmic artery.	The Lancet	354	2052-2053	1999
Harada M, Uno M, Yoneda K, Hori A, Nishitani H, Matsuda T.	Correlation between flow-sensitive alternating inversion recovery perfusion imaging with different inversion times and cerebral flow reserve evaluated by single-photon-emission computed tomography.	Neuroradiology	46	649-654	2004
Hao Liu, Masaaki Uno, Keiko T. Kitazato, Atsuhiko Suzue, Shiji Manabe, Hiroyuki Yamasaki, Masayuki Shono and Shinji Nagahiro:	Peripheral oxidative biomarkers constitute a valuable indicator of the severity of oxidative brain damage in acute cerebral infarction.	Brain Research	1025	43-50	2004
日下康子、 吉本高志、 白根礼造、 富永悌二	血行再建術後脳出血発症例の検討	厚労モヤモヤ病研究 平成15年度報告書		37-40	2004
富永 悌二	中大脳動脈の解剖と手術	脳神経外科ジャーナル	13	376-381	2004
中川原 譲二	SPECT (各種脳血流トレーサーおよび <sup>123</sup> I-Iomazanil SPECTを用いた測定法の特徴と最近の画像解析法)	脳循環代謝	16	139-151	2004



Mizumura S, Nakagawara J, et al	Three-dimensional display in staging hemodynamic brain ischemia for JET study: objective evaluation using SEE analysis and 3D-SSP display	Ann Nucl Med	8	13-21	2004
Okada Y et al	Intraoperative Hemodynamic Measurement of the vertebral artery and common carotid artery	Neurol Med Chir(Tokyo)	44	509-515	2004
Okada Y et al	Intra-arterial vasopressin injection for the treatment of massive bleeding from the external carotid artery after craniofacial trauma	Neurol Med Chir(Tokyo)	44	611-614	2004
Kawamata T, Okada Y et al	Extravascular application of an intravascular ultrasound (IVUS) catheter during carotid endarterectomy to verify distal ends of stenotic lesions	Acta Neurochir(Wien)	146	1205-1209	2004
Kuroda S, Shiga T, Ishikawa T, et al	Reduced blood flow and preserved vasoreactivity characterize Oxygen hypometabolism due to incomplete infarction in occlusive carotid artery diseases.	J Nucl Med	45	943-949	2004
小笠原邦昭 小川 彰	脳梗塞に対する外科的療法の 現状—CEA, ステント, EC-ICバイパス	日本医師会雑誌	133	662-664	2005
Uehara T, Tabuchi M, Mori E	Risk factors for occlusive lesions of intracranial arteries in stroke-free Japanese	Eur J Neurol	12	218-22	2005
森悦朗	痴呆性疾患のMRIによる評価	臨床脳波	47	753-761	2006
Iizuka O, Hosokai Y, Mori E	Trigeminal neuralgia due to pontine infarction	Neurology	66	48	2006
川口正一郎	内頸動脈閉塞症における側副 血行路としての眼動脈血流 - 血行力学的脳虚血との関係-	Neurosonology	17(1)	14-17	2004

川口正一郎	<目でみる神経超音波診断> 眼動脈ドプラ血流検査による 内頸動脈血管性病変の評価.	Neurosonology	17(3)	118-120	2004
川口正一郎	頸動脈狭窄性病変に対する STENT留置術中眼動脈ドプ ラ血流検査 -術中塞栓の観 察-	Neurosonology	17(3)	136-139	2004
Uno M, Harada M, Takimoto O, Kiatazato KT, Suzue A, Yoneda K, Morita N, Itabe H, Nagahiro S	Elevation of plasma oxidized LDL in acute stroke patients is associatedwith ischemic lesions depicted by DWI and prediction of infarct enlargement.	Neurol Res	27	94-102	2005
宇野昌明、 西京子、 鈴江淳彦、 松原俊二、 佐藤浩一、 永廣信治、 森田奈緒美、 西谷弘、 原田雅史	脳卒中診断の最前線	四国医学雑誌	61	13-20	2005
Uno M, Kitazato KT, Suzue A, Matsuzaki K, Harada M, Itabe H, Nagahiro S.	Inhibition of brain damage by edaravone, a free radicalscavenger, can be monitored by plasma biomarkers that detect oxidative and astrocyte damage in patientswith acute cerebral infarction.	Free Radic Biol Med.	39	1109-16	2005
富永悌二	脳動脈解離と頭痛	第5回宮城頭痛研 究会 抄録集		1-4	2005
清水宏明、 大友 智、 藤原 悟、 富永悌二	Diffusion/perfusion mismatchを有するアテローム 血栓性梗塞におけるアルガト ロバンの効果	Progress in Medicine	25	1670-1675	2005
中川原譲二	虚血性病変に対するEC-ICバ イパス手術	救急医学	29	1055-1059	2005
中川原譲二	SPECT	Medical Postgraduates	43	406- 409	2005

Okada Y.	Scaled suction for microneurosurgery	Neurosurg.	57 (ONS suppl 3)	ONS413-	2005
Kawamata T, Okada Y.	Carotid tissue levels of argatroban after direct delivery during carotid endarterectomy to prevent perioperative cerebral embolism	Neurosurg.	56	913-918	2005
岡田芳和	頸部頸動脈狭窄病変に対する外科的治療指針—現時点でのCEAの問題点と対策—	脳卒中の外科	33	335-341	2005
岡田芳和	狭窄脳血管病変に対する外科治療—頸部会動脈以外の頭蓋外血管狭窄—	救急医学	29	1044-1053	2005
Kuroda S et al.	Cerebral oxygen metabolism and neuronal integrity in patients with impaired vasoreactivity due to occlusive carotid artery disease.	Stroke	37	393-398	2006
Kuroda S et al.	Incidence and clinical features of disease progression in adult moyamoya disease.	Stroke	36	2148-2153	2005
Nanba R, Kuroda S et al.	Clinical features of familial moyamoya disease.	Child Nerv Syst	22	258-262	2006
Takagi Y, Nishimura M, Morizane A, Takahashi J, Nozaki K, Hayashi J, Hashimoto N	Survival and differentiation of neural progenitor cells derived from embryonic stem cells and transplanted into ischemic brain.	Journal of Neurosurgery	20	304-310	2005

Higashikata T, Yamagishi M, Higashi T, Nagata I, Iihara K, Miyamoto S, Ishibashi-Ueda H, Nagaya N, Iwase T, Tomoike T, Sakamoto A	Altered expression balance of matrix metalloproteinases and their inhibitors in human carotid plaque disruption: Results of quantitative tissue analysis using real-time RT-PCR method	ATHEROSCLEROSIS	185	165-172	2006
Iihara K, Murao K, Sakai N, Yamada N, Nagata I, Miyamoto S	Outcome of carotid endarterectomy and stent insertion based on grading of carotid endarterectomy risk: a 7-year prospective study	J Neurosurg	105	546-554	2006
小笠原邦昭、小川 彰	JET study (Japanese EC-IC Bypass Trial)	日本臨床インターベンション時代の脳卒中学	64	524-527	2006
井上 敬、小笠原邦昭、小川 彰	脳神経外科手術 —JET, MELT Japanなど—	ファーマナビゲーター 脳卒中編	4	408-411	2006
Mori E	Mori E. Insight into management of dementias from neuroimaging. Acta Neurol Taiwan 15:52-55, 2006	Acta Neurol Taiwan	15	52-55	2006
森悦朗	予防的脳神経外科手術のoverview;医師の視点	脳神経外科ジャーナル	15	381-383	2006
Kawaguchi S.	Effect of STA-MCA bypass for the ocular ischemic syndrome due to the occlusive internal carotid artery diseases.	J Neurosurg	104	A646	2006
Kawaguchi S.	Effect of carotid artery stenting on ocular circulation and chronic ocular ischemic syndrome.	Cerebrovasc Dis	22	402-408	2006
Morigaki R, Uno M, Suzue A, Nagashiro S	Hemichorea due to hemodynamic ischemia associated with extracranial carotid artery stenosis. Two cases reports.	J Neurosurg	105	142-147	2006